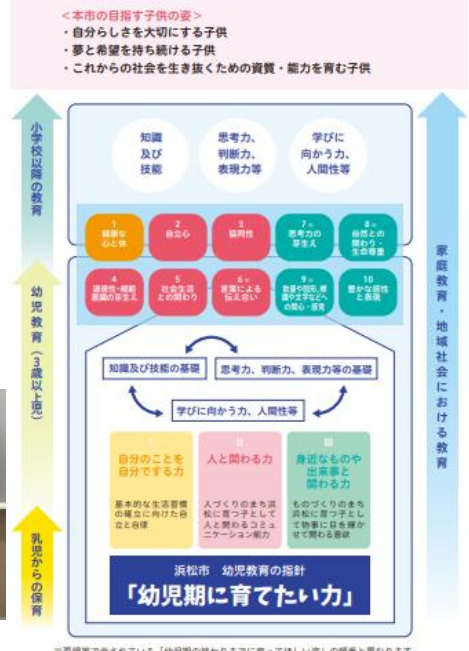


就学前支援教室「つくしっこ」

助成：(公財)浜松国際交流協会



★幼児教育推進のイメージ図



今年度も就学前支援教室「つくしっこ」がはじまりました。近年、外国につながる子供達が急増し、就学前の子供達への支援が全国的に広がりを見せています。就学前支援教室は、小学校入学を控えた外国につながる子供達が学校での生活に必要な日本語や小学校生活を体験するもので、幼稚園と小学校をスムーズにつなぐための支援をおこなっています。

TOMO2 では、長年、小学校で日本語支援をしてきた経験から、就学前支援の重要性を痛感し、2014 年より、市内幼稚園などで教室を開催してきました。浜松市の幼児教育の指針(右図)を参考に、全 10 回の教室です。今年度も、10 月よりベトナムにつながる子供達を対象に、毎週土曜日、三方原協働センターにて教室を開催しています。子供達は仲間たちと遊びを通して楽しく日本語や文字にふれ、先生との関わりを通して日本の小学校生活を体験しています。(菅原)



始まる前には名札もつけます

いろいろな物の数を数えます

ブラジル人学校「コレジオ・アルテルナチーバ」

助成：(公財)浜松国際交流協会



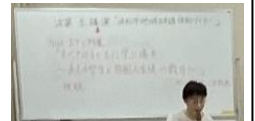
第 16 回 NPO 総会

当協会より、日本人講師とバイリンガル講師 2 名を派遣し、日本語学習支援を行っています。初等部は週に 3 回、幼稚園は週に 1 回のクラスです。今年度は日本の夏の風物詩、花火を自分たちで絵にしてみました。(菅原)



令和5年5月13日(土) あいホールにて、第16回NPO総会を開催しました。正会員52名(委任状含む)が出席し、以下の議案が可決されました。

- ① 令和4年度事業報告
- ② 令和4年度活動計算報告・監査報告
- ③ 令和5年度事業計画
- ④ 令和5年度活動予算
- ⑤ 新役員



総会后、NHK ETV 特集「すべての子どもに学び場を～ある中学校と外国人生徒の歲月～」(2020.6.27 放送)を視聴し、意見交換を行いました。

令和5年度 日本語・学習支援

委託：浜松市「日本語・学習支援業務委託(中・南エリア)」

今年度当初は、日本生まれの子どもが増えてきたこととコロナ感染の影響もあり生徒数の減少を予想していました。しかし、2 学期から急に編入生が増え、現在115人の日本語基礎支援を行っています。初めてアフリカからの編入生もあり、多国籍化がますます進んでいると実感します。また、新一年生への支援も多く、日本生まれの子どもに対しても支援の必要性を感じています。

多様性を重視される社会になり、一人ひとりに合った指導が求められています。絵本を媒介として、子どもの特性を生かした実践が報告されるようになってきました。子どもの成長していく姿に指導者とともに感動しています。(信田)

7月全体ミーティング 研修会

7月18日 あいホール

「浜松市地域日本語教育体制づくり～5年後の浜松市を見据えて～」
講師：内山夕輝氏 (HICE 主幹)



研修会 はまっこクラブ

(年6回実施)

講師：寺澤昌子



新人研修 7月14,19,31日

講師：寺澤昌子



今年度も6月から「まつっこ」が始まりました。どの教室も子供たちの真剣な眼差しと楽しそうな笑顔が見られます。「まつっこ」は、毎週土曜に地域の協働センターで行っているため、保護者の送迎が欠かせません。また、積極的に母語で親子の会話をするこも、子供の母語維持には必要です。指導者は、保護者と信頼関係を築き、保護者とともに子供たちを育てていく思いで、より良い「まつっこ」を目指して日々取り組んでいます。(澤根)

ベトナム語



会場：三方原協働センター



スペイン語



会場：南部協働センター



ポルトガル語



会場：市民協働センター



中秋節の提灯作り
(9月30日 ベトナム語)



独立記念日
(10月14日 スペイン語)

浜松東警察署少年サポートセンターによる薬物乱用禁止教室
(10月14日 ポルトガル語)



未来へはばたけ！「まつっこ」カミーズ計画 2023
助成：(公財)浜松国際交流協会



今年度も母国語教室「まつっこ」(ポルトガル語)に通う子供たちへの学習支援が始まりました。3年目となる今年は、30名程の参加となり、7月から2月まで20回開催します。

母語学習の後に教科を学習する子と、先に教科学習をしてから母語を学ぶ子とありますが、子供たちの切り替えは実に自然です。多言語環境で学ぶ子供の柔軟性を実感します。(澤根)



放課後学習支援教室「アイスプラネット」
助成：(公財)浜松国際交流協会



4年目を迎えた今年は、外国につながる生徒が多い江南中学で、20名にのぼる参加者とともに活動しています。毎週水曜日の放課後を楽しみにしてくれれば嬉しいです。

今年の「先輩の話を聞こう」は、9月13日に県の多文化共生課の主催で文化芸術大生(日系ブラジル人)が来てくれました。とても興味深い話が聞けて、みんな、お礼の手紙を一生懸命書きました。(神川)



その他の活動

■TOMO2 読書会

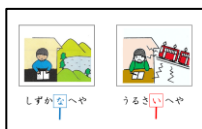
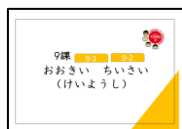
6月から月1回のペースで読書会が始まりました。『外国につながる子どもの日本語教育』という本を毎回1章読んでいます。参加者は5~10名で、子どもたちを取り巻く環境や日頃の日本語指導で感じたことなどを話し合い、毎回深い学びとなっています。日々の実践に向き合いながらも、時々立ち止まってちょっと本でも読んでみませんか。どの回からでも参加できます。(佐藤)



■ICTプロジェクト

学校では子どもたちが普段の授業でタブレットを使うようになってきています。こうした教育環境の変化に対応しTOMO2でもより楽しみながら学べるよう『はまっこ』テキストの電子化に取り組んでいます。現在第9課(形容詞)ができあがり、リーダーの方々による試行が始まりました。今後、順次開発していきます。(佐藤)

※ICT=Information & Communication Technology



今後の予定

◆12月全体ミーティング&バザー

日時：12月11日(月) 13:30~15:30
会場：あいホール 3F会議室

◆日本語・学習支援 3学期

1月9日(火)~3月8日(金)



◆3月全体ミーティング&研修会

日時：3月11日(月) 13:30~15:30
会場：あいホール 3F会議室

◆母国語教室(まつっこ)修了式

- ・スペイン語 3月2日(土) 南部協働センター
- ・ベトナム語 3月9日(土) 三方原協働センター
- ・ポルトガル語 3月23日(土) 市民協働センター



TOMO2 ホームページ
<https://www.tomo2kodomo.com/>
Facebook 随時更新中
広報担当：菅原・谷本

